



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0063 彦根市中央町3-8彦根商工会議所 3階
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

令和8年上期 バルブ生産高調査結果

前年比3.4%増の168億円

令和8年上期（1月～6月）のバルブ生産高調査（23社）の結果がまとまり、生産高は168億2703万円となった。前年同期比では5億4823万円の増加となり、増減率はプラス3.4%であった。

業種別では、水道用弁は50億6261万円で、前年同期比2億2515万円減、増減率はマイナス4.3%となった。人手不足、原材料・エネルギー価格の高止まりなどの影響による公共工事の発注減少や中東情勢の影響による市場環境の混乱が影響し、やや弱含みで推移した。

産業用弁は66億8132万円で、前年同期比1億2044万円増、増減率はプラス1.8%となった。原材料・エネルギー価格の高騰に伴う価格改定により生産高は伸びたものの、出荷数はやや減少傾向にある。

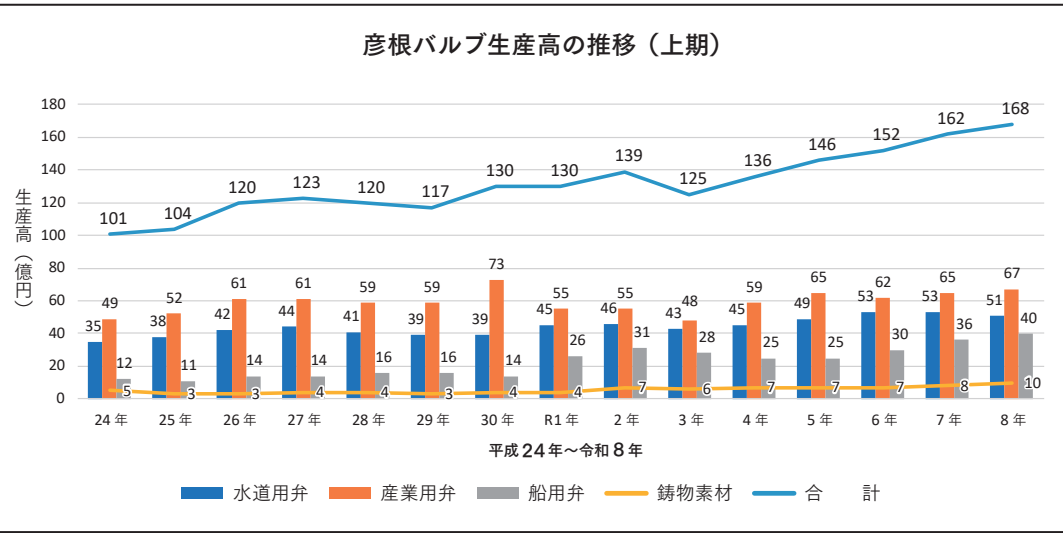
船用弁は40億6039万円で、前年同期比4億9557万円増、増減率はプラス13.9%となった。造船業界の需要が引き続き堅調に推移し、生産高は前年同期を上回った。

鋳物素材は10億2270万円で、前年同期比1億5737万円増、増減率はプラス18.2%となった。原材料価格の高騰を背景とした価格改定や、一部で前倒し発注が見られたことなどから、生産高は前年同期を上回った。

令和8年上期は、原材料・エネルギー価格や物流費・人件費

2026年上期 対前年比較表 (単位:百万円)

種 類 別	2026年 (1～6月)	2025年 (1～6月)	増減率 (%)
水 道 用 弁	5,063	5,287	▲4.3
産 業 用 弁	6,681	6,561	1.8
船 用 弁	4,060	3,565	13.9
鋳 物 素 材	1,023	865	18.2
合 計	16,827	16,278	3.4



令和8年度
安全標語

優秀作品が選出されました

- 7月1日から7月7日まで実施された「全国安全週間」に合わせ、彦根労働基準監督署の協賛を得て、会員企業を対象に安全標語を募集しました。
- 今年度は19社から646作品の応募があり、多くの会員企業の皆様にご参加いただきました。日頃から安全を最優先に考える意識の高さがうかがえる作品が多く寄せられ、いずれも安全への思いや創意工夫にあふれた内容でした。
- 7月23日（木）に開催した審査会では、その中から優秀作品を選出し、次の皆様の作品が入賞しました。（敬称略）
- 一席 迷ったら 止まる・確認・相談で 事故ゼロへ
日の本工業(株) 岡 和磨

二席 言葉や文化が違えども 願う安全
みな同じ グローバルな安全意識
沢村バルブ(株) 西村 啓利

二席 安全はチームでつくる
職場の文化 守ろう
仲間の笑顔と自分の未来
(株)昭和バルブ製作所 林 絢香

三席 一人の油断が事故を招く
全員参加でゼロ災害職場へ
清水工業(株) 樋米 誠

三席 気づきを共有 知恵を結集
みんな育てる安全文化
(株)キッツエスジーエス 川瀬 暁斗
- 三席 多様な仲間が 生み出す気づき
誰もが主役の安全職場
古川工業(株) 中川 雅晴

佳作 誰にでもある「ミス」と「うっかり」
責めずに共有・対策で みんなで築く安全職場
清水工業(株) 清水 淳一

佳作 安全は見えないバルブ 閉める意識で 止める危険 開こう未来のゼロ災害
(株)昭和バルブ製作所 佐々木 瑞貴

佳作 違う目線で十人十色 みんなで紡ぐ 安全の和
大丸工業(株) 与田 萌乃

佳作 若手の視点 ベテランの知恵
東ねて築く安全の礎
(株)水研 品川 賢治

彦根労働基準監督署 署長特別賞
「おはよう」が 育てる職場の風通し
違和感言える 空気と勇氣
(株)清水鐵工所 岡田 美樹

奨励賞 聞こう・話そう・伝えよう 気づきを 共有し、みんなで作ろう 健康職場
廣瀬バルブ工業(株) 山崎 真人

奨励賞 危険の芽・見る目・気づく目・ 予知する目 日々の意識で安全職場
角田鉄工(株) 本村 浩

奨励賞 「急ぐより 守る手順が 最短路」
宮部鉄工(株) 若狭 諒一

奨励賞 その常識 みんなが同じと限らない
教えて育てる安全職場
(株)オーケーエム 南川 清美

奨励賞 危ないと思った時が改善タイム
安全こそが全てに優先！
松尾バルブ工業(株) 深舩 秀史

新人・若手社員向け
バルブ研修会

6月11日（木）に開催した「新人・若手社員向けバルブ研修会」には、10社23名のご参加をいただきました。本研修会は、滋賀県北部産業技術共創センターとの共催、（一社）日本バルブ工業会彦根支部の後援により実施しました。

当日は、彦根バルブの歴史を学んだ後、滋賀県北部産業

技術共創センター彦根庁舎の施設見学を行い、その後の座学では「バルブの基礎知識（材料編・構造・用途編）」について理解を深めました。

なお、受講者の皆様に実施したアンケートでは、カリキュラム全体を通して満足度が9割を超え、高い評価をいただきました。





滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0063 彦根市中央町3-8彦根商工会議所 3階
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463



セミナー第9回の様子

7月9日(木)、滋賀県北部産業技術共創センター彦根庁舎において、バルブ技術者セミナー(第9回)を開催しました。本セミナーは、滋賀県北部産業技術共創センター主催、滋賀バルブ協同組合共催により実施し、講師に小岩井隆氏をお迎えしました。最終回は、「汎用バルブの不具合事例原因と対策」

バルブ技術者セミナー第9回 「汎用バルブの不具合事例原因と対策」

をテーマに、「仕様の不一致」や「施工・操作上のミス」に起因する不具合について、弁座のかじり付きや異種金属接触腐食、異常昇圧、ハンドルの締め過ぎなど、実務に即した事例を交えながら原因と対策をご講義いただきました。

全9回のシリーズは今回で終了しましたが、今後も会員企業の技術力向上につながる研修・セミナーを企画してまいります。



セミナー第1回





7月14日(火)に開催した滋賀県立大学工学部1回生を対象とした特別講義には、147名の学生が出席しました。

滋賀県立大学工学部 特別講義

今年度の派遣講師には、宮部鉄工株式会社生産技術課課長の瀧本浩章氏をお迎えし、「機械と地場産業『バルブ』」をテーマに90分間の講義を実施しました。講義では、動画を用いてバルブの基本構造を分かりやすく解説いただき、受講後のアンケートでは「バルブの用途や構造」に最も高い関心が寄せられました。

今回の講義を通じて、学生の皆さんが彦根バルブへの理解を深める機会となりました。



おめでとうございます！

廣瀬バルブ工業株式会社が、2025年度「はばたく中小企業・小規模事業者300社」の「成長戦略・生産性向上」分野に選定されました。

「はばたく中小企業・小規模事業者300社」は、経済社会構造の変化に対応し、事業変革や新規事業への挑戦を通じて、地域経済および日本経済の成長に貢献することが期待される中小企業・小規模事業者を選定・顕彰する制度です。

このたびの選定を心よりお祝い申し上げます。今後ますますのご発展とご活躍をお祈りいたします。



令和8年度 第1回 青年部交流ゴルフコンペ

7月11日(土)、敦賀国際ゴルフ倶楽部において、令和8年度第1回青年部交流ゴルフコンペを開催しました。当日は炎天下の厳しい暑さの中でのラウンドとなりましたが、参加者の皆様は熱中症対策を講じながらプレーを楽しみ、終始和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。

競技結果は次のとおりです。

優勝	清水 智弘 氏	(株)清水鐵工所
準優勝	鈴木 宗亮 氏	大宗(株)
3位	清水 康裕 氏	清水工業(株)



青年部30周年 事業委員会 設置

6月23日(火)、滋賀バルブ協同組合事務局において、第1回青年部30周年事業委員会を開催しました。青年部は、平成8年5月30日(1996年)に設立され、本年度で設立30周年という大きな節目を迎えます。この記念すべき年を会員の皆様とともに祝い、青年部のさらなる発展につなげるため、30周年事業委員会を設置し、記念事業の企画・検討を進めています。



夏季休業日のお知らせ

誠に勝手ながら、組合事務局は8月12日(水)から8月14日(金)まで夏季休業とさせていただきます。皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

編集後記

滋賀県立大学工学部1回生を対象とした特別講義「機械と地場産業」には、学生147名、組合関係者8名が受講しました。動画を活用した講義を通じて、彦根バルブ産業の歴史やものづくりの魅力について理解を深めていただき、アンケートからも学生の関心の高さがうかがえるなど、次世代へ地場産業の魅力を伝える貴重な機会となりました。

また、バルブ生産高調査では、令和8年上期(1月～6月)の生産高が前年同期を上回る結果となり、各社の努力の成果として心強い状況となっております。

一方で、原材料・エネルギー価格、物流費や人件費の高止まり、海外情勢など、依然として厳しい経営環境が続いています。今後も生産性向上や新たな需要開拓などを通じ、さらなる発展が期待されます。

さて、本年度は青年部設立30周年という節目の年を迎えます。これまで青年部が担ってきた人材育成や交流活動は、業界の発展に大きく貢献してまいりました。また、親組合も来年度には設立40周年を迎えます。先人の皆様が生きてこられた歴史と伝統を受け継ぎながら、次の時代に向けた取り組みを進めてまいります。

今後とも、組合員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。